

医療的ケア児者の実態把握調査結果

令和8年3月
静岡県健康福祉部障害福祉課

医療的ケア児者の実態把握調査

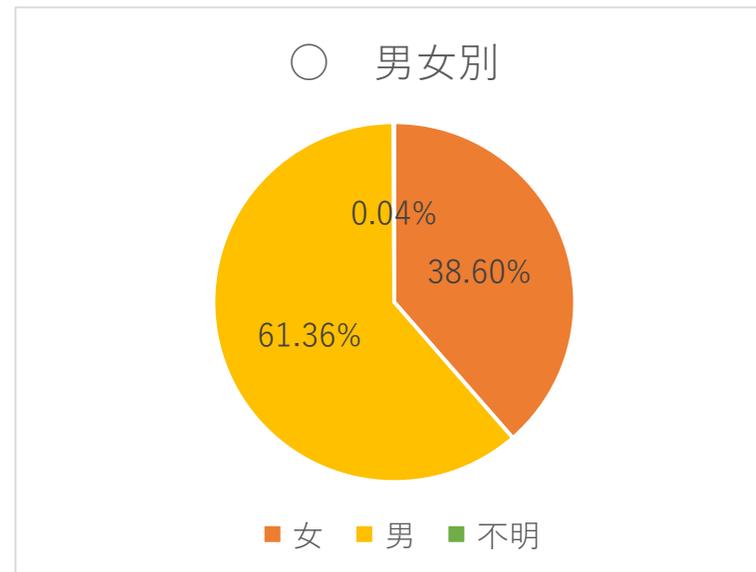
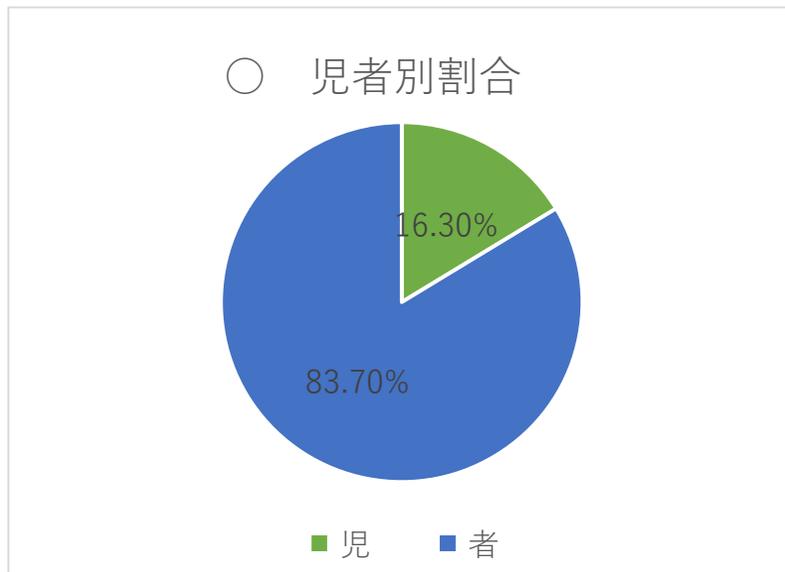
○ 調査概要

- (1) 調査時点 令和7年5月1日
- (2) 調査対象 静岡県内に住所を有しており、日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケアを受けることが不可欠である児者
ただし、援護の実施者が県外市町村の場合は対象外とする
- (3) 医療的ケアの定義 医療的ケアスコア（下表のとおり）のうち1項目でも該当する児者

①	人工呼吸器（鼻マスク式補助換気法、ハイフローセラピー、間歇的陽圧吸入法、排痰補助装置、高頻度胸壁振動装置を含む）の管理	⑧	中心静脈カテーテルの管理（中心静脈栄養、肺高血圧症治療薬、麻薬等）
②	気管切開の管理	⑨	皮下注射（インスリン、麻薬等の注射を含む、持続皮下注射ポンプの使用）
③	鼻咽頭エアウェイの管理	⑩	血糖管理（定時血糖測定、持続血糖測定、埋め込み式血糖測定）
④	酸素療法	⑪	継続的な透析（血液透析、腹膜透析）
⑤	吸引（口鼻腔・気管内吸引）	⑫	導尿（間欠的導尿、持続的導尿（尿道留置カテーテル、膀胱ろう、腎ろう、尿路ストーマ））
⑥	ネブライザーの管理	⑬	排便管理（消化管ストーマ、摘便、洗腸、浣腸）
⑦	経管栄養（経鼻胃管、胃ろう、経鼻腸管、経胃ろう腸管、腸ろう、食道ろう、持続経管注入ポンプ使用）	⑭	痙攣時の対応（座薬挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置）

全体像

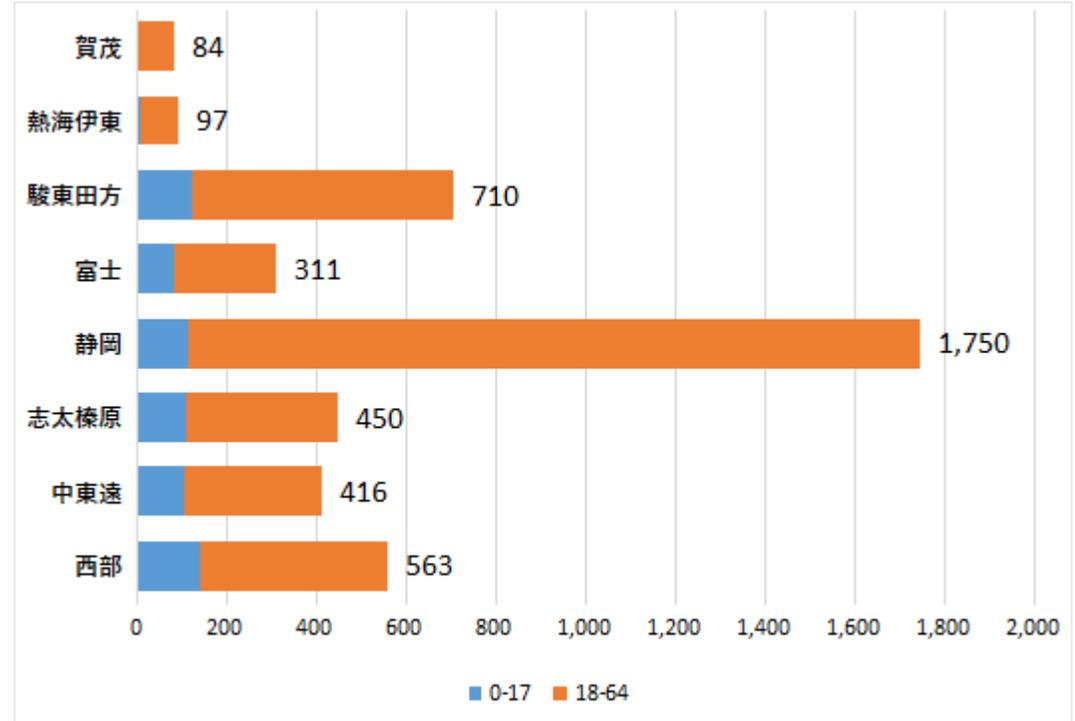
65歳未満の医療的ケア児者4,381人 うち18歳未満の医療的ケア児は714人



障害保健福祉圏域別

単位：人

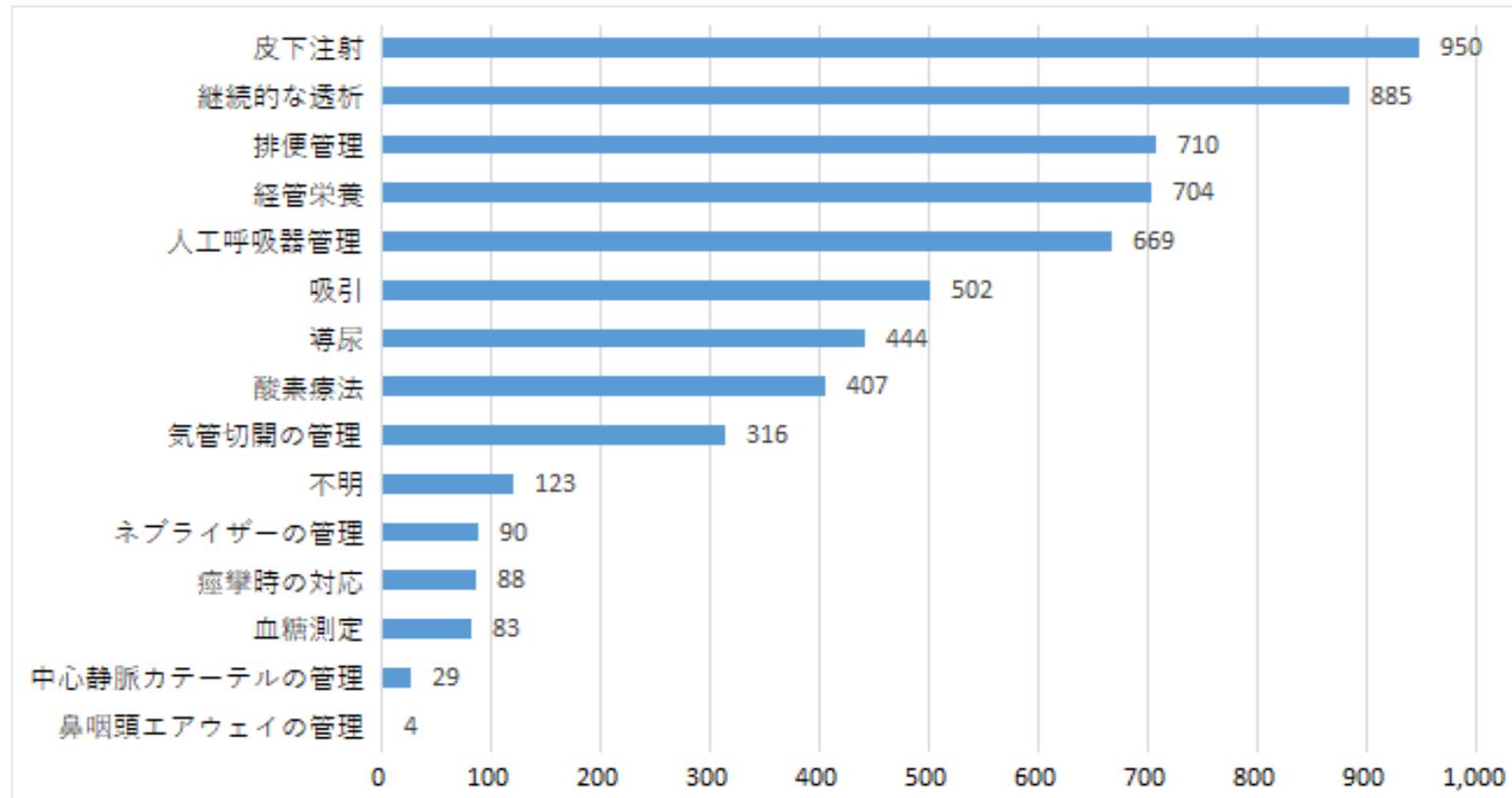
区分	年齢		
	0-17	18-64	計
賀茂	6	78	84
熱海伊東	10	87	97
駿東田方	128	582	710
富士	88	223	311
静岡	117	1,633	1,750
志太榛原	114	336	450
中東遠	107	309	416
西部	144	419	563
計	714	3,667	4,381



医療的ケア児者の実態把握調査結果（必要な医療的ケアの内容）

✓ 全体としては皮下注射（インシュリン注射等）、透析、排便管理（ストーマ）が上位を占めている

単位：人



医療的ケア児者の実態把握調査結果（必要な医療的ケアの内容）

✓ 0～17歳と18～64歳毎の上位医ケア項目は下表のとおり

単位：人

0～17歳		
1	経管栄養	327
2	吸引	224
3	酸素療法	164
4	気管切開の管理	123
5	人工呼吸器管理	116

単位：人

18～64歳		
1	継続的な透析	881
2	皮下注射	852
3	排便管理	629
4	人工呼吸器管理	553
5	経管栄養	377

年齢区分別医療的ケアの重複割合

✓ 若年層では医療的ケアの項目の重複割合が高いが、年齢が上がるにつれ重複割合が下がっている

単位：人

年齢区分	医ケア 見者A	重複 見者B	重複割合 B/A
0-2	130	42	32%
3-5	111	55	50%
6-11	240	114	48%
12-17	233	93	40%
18-29	349	177	51%
30-39	332	87	26%
40-49	562	71	13%
50-59	1,375	91	7%
60-64	1,049	75	7%
計	4,381	805	18%

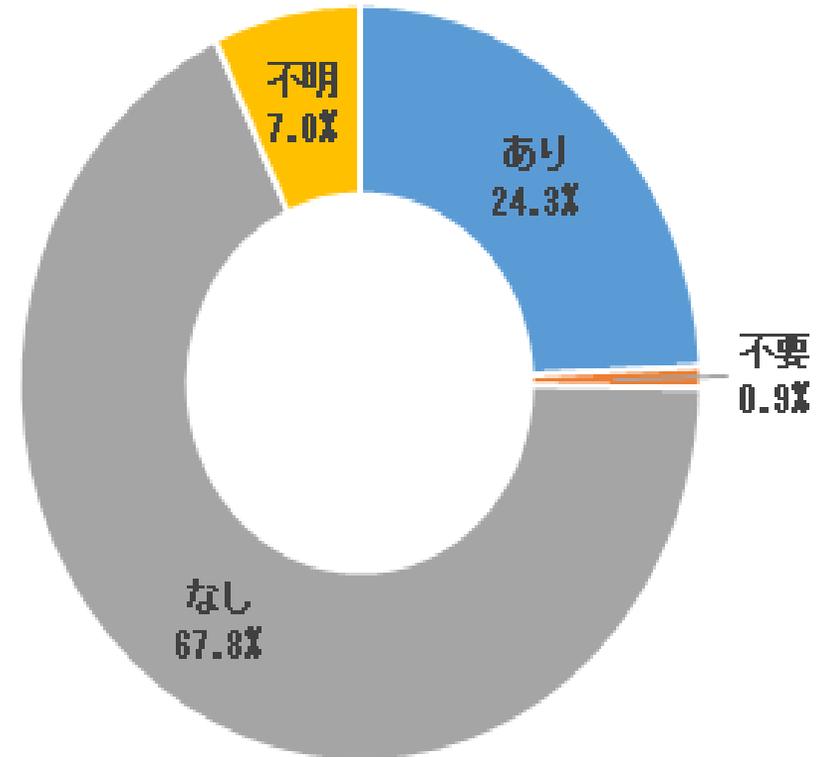
医療的ケア児者の実態把握調査結果（防災対策）

- ✓ 名簿登載、個別避難計画の策定も進んでいない実態が判明
- ✓ 約7割が名簿未登載、個別避難計画策定済は医ケア児者全体の約5%

支援体制整備
(防災対策)

単位：人

名簿登載	人数	割合
あり	1,065	24.3%
計画あり	200	4.6%
計画なし	755	17.2%
計画不明	109	2.5%
計画不要	1	0.0%
不要	40	0.9%
なし	2,971	67.8%
不明	305	7.0%
計	4,381	100.0%



医療的ケア児者の支援施策への反映（まとめ）

小項目	説明
家族支援	入院や通院に要する交通費等の支援（R8新規事業）
支援体制の充実	各圏域における医療的ケア児等コーディネーターを、ニーズに基づき計画的に養成
災害時対応	<ul style="list-style-type: none">・個別避難計画作成支援（R8新規事業）・市町に対し避難行動要支援者名簿への登載促進
短期入所	富士圏域をモデル地域とした新規受入れ施設の開拓等